平成 26 年２月７日

各　　位

会　社　名　株式会社三光マーケティングフーズ
本店所在地　東京都豊島区南池袋三丁目９番５号
サトミビル
代表者名　代表取締役社長　平林　隆広
（コード番号2762　東証二部）
問　合　先　常務取締役執行役員
経営管理本部長　長澤　成博
TEL　03-5985-5711（代表）

特別損失の計上ならびに第２四半期業績予想との差異

および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社におきまして、下記の通り特別損失の計上を行いますので、その概要をお知らせするとともに、平成 25 年８月９日に公表いたしました平成26年６月期第２四半期累計期間の業績予想と本日公表の同期実績に差異が生じましたのでお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年８月９日に公表いたしました平成 26 年６月期の通期業績予想値を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．特別損失の計上

これまでの業績を踏まえ、大幅な店舗再編および、将来的な収益力の改善が見込めるか否かにつき店舗ごとに再検証を行いました。その結果、平成 26 年６月期第２四半期累計期間において店舗閉鎖損失 333 百万円、減損損失 429 百万円を計上します。

２．業績予想値と実績値の差異および通期業績予想の修正

平成 26 年６月期第２四半期累計期間業績予想値と実績との差異（平成 25 年７月１日～平成 25 年 12 月 31 日）

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	四半期純利益 百万円	１株当たり当期純利益 円銭
前回発表予想(A)	12,000	100	100	△100	△6.95
実績(B)	10,353	△1,625	△1,483	△3,095	△215.18
増減額(B-A)	△1,646	△1,725	△1,583	△2,995	
増減率(%)	△13.7%	－	－	－	
（ご参考）前年同期実績 （平成 25 年６月期第２四半期）	13,070	200	239	20	1.45

平成26年６月期通期業績予想値の修正（平成25年７月１日～平成26年６月30日）

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	四半期 純利益 百万円	１株当たり 当期純利益 円銭
前回発表予想(A)	24,000	400	400	20	1.39
今回発表予想(B)	19,500	△2,400	△2,200	△4,400	△305.83
増減額(B-A)	△4,500	△2,800	△2,600	△4,420	
増減率(%)	△18.7%	－	－	－	
（ご参考）前年同期実績 （平成25年６月期）	25,712	△179	13	△787	△54.73

（注） 当社は、平成26年１月１日付で普通株式１株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり四半期純利益を算定しております。

３．業績予想値との差異および通期業績予想の修正理由

（第２四半期累計期間業績予想値との差異の理由）

平成26年６月期第２四半期累計期間の実績値につきましては、期中に実施した東京チカラめし業態の大幅な店舗再編、居酒屋業態の売上高が当初予想を下回ったこと、円安による東京チカラめし業態の主要食材の調達価格高騰による売上原価率の上昇、居酒屋業態の新業態開発、既存店舗のリニューアル推進などの先行投資を実施した結果、売上高、営業利益、経常利益が当初予想を下回る結果となりました。四半期純利益につきましては、経常利益の減少、現在の経営環境を踏まえ第３四半期以降の繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を取崩し、法人税等に６億53百万円を計上したことにより、当初予想を下回る結果となりました。

（通期業績予想値の修正の理由）

第２四半期までに取り組んできた居酒屋業態の諸施策の効果が現れてきているものの、東京チカラめし業態の収益環境は依然として厳しい状況にあることおよび、店舗再編による影響を考慮して、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益につきまして、それぞれ下方修正しております。

（注意事項）

本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上